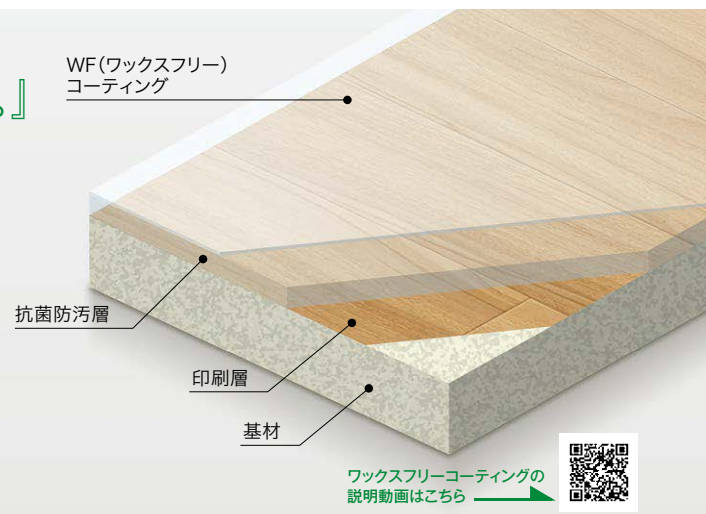


『WAXをかけることなく、美観を維持できる。』



# ワックスフリー コーティング



## 1 WFコーティングによる『高い防汚機能』▶ ワックスフリー

UV樹脂コーティングによって汚れがつきにくく、取れやすい。表面の拭き取りのみで汚れが除去できます。さらに汚れが付きにくいエンボス形状を採用。

■ 耐ヒールマーク性試験 JIS K 3920 「フローアールッシュ試験方法」に準拠

	WFコーティング品 (UV樹脂コーティング)	一般品+WAX	一般品
未使用状態			
拭き取り前			
拭き取り後			

※上記データは当社基準による評価です。

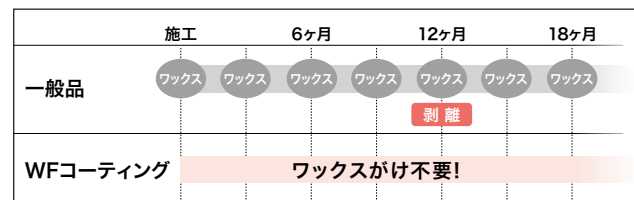
## 2 『環境負荷低減』

大量の汚水が発生するワックス剥離作業が不要。環境負荷の高い廃液(汚水・剥離剤など)を最小限に抑制します。

## 3 ワックスメンテナンスコストを『削減』

WFコーティングの寿命を通してワックスがけが不要となり、それに伴う時間と費用も不要に。コストを削減できる商品です。

■ ワックスメンテナンスサイクル例



※上記は一例であり、使用環境により内容は異なってきます。

■ 年間ランニングコスト(実費) ※医療施設(2,000m<sup>2</sup>)の場合

		一般長尺シート	WFコーティング品
日常清掃 *1	月額	90万円	90万円
	年間	1,080万円	1,080万円
定期清掃 *2	1回	20万円	0円
	年間	60万円	
剥離清掃 *3	1回	—	
	年間	53万円	
年間コスト合計		1,193万円	1,080万円

年間113万円の削減

\*1: ガスタークロス・モップ(自動床洗浄機)による清掃(毎日1,000m<sup>2</sup>/人計算)

\*2: 表面洗浄・ワックス2層塗布(3回/年)単価(100円/m<sup>2</sup>計算)

\*3: ワックス剥離・ワックス2層塗布(1回/年)

■ 耐摩耗試験による防汚性比較

	WFコーティング品 (UV樹脂コーティング)	一般品 + WAX	一般品
25回転			
50回転			
100回転			
200回転			

※上記データは当社基準による評価です。

【試験方法】 JIS K 7204テーバー式摩耗試験機を使用して独自の耐摩耗試験を実施。

試験後、円形試験片の上にカーボンを落とし、右側部分を拭き取り、摩耗部の防汚度合いを比較。

WFコーティング品は耐摩耗試験の結果のように、WAX塗布品に比べて高い耐摩耗性能があります。

※歩行量の特により多い部位や路面店舗など土砂の持ち込みが多い部位など、使用環境によって摩耗度合いは変化します。

- UV樹脂コーティングには、摩耗による寿命があります。
- 日常メンテナンスは必ず行ってください。
- ワックスメンテナンスへの切り替えも可能です。

※メンテナンス方法につきましては、P.86をご覧ください。